

専門分野Ⅰ・基礎看護学実習の計画

授業科目	基礎看護学実習Ⅰ	基礎看護学実習Ⅱ	基礎看護学実習Ⅲ
実習目的	入院患者への看護援助を通して、対象者ならびに療養生活の理解を深める。	療養患者の基本的ニーズを充足するための援助を通して、看護の対象となる患者の特性を理解し、看護について考えられる。	対象のニーズに応じた援助を実践するための看護過程の基礎を学ぶ。
実習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 入院患者とのコミュニケーション、日常生活援助の見学・実施を通して、生活者として対象を理解することができる。 2. 患者の入院生活に対する思いや体験していることに関心を向けて関わるができる。 3. 看護者として望ましい態度、責任ある行動がとれる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 患者との看護場面を通して、患者の基本的ニーズを充足するための看護について理解できる。 2. 患者が必要としている日常生活援助を安全・安楽・自立の看護原則にもとづいて看護師の指導を受けながら実施できる。 3. 援助場面を通して自己を振り返り、看護について考えられる。 4. 看護者として望ましい態度、責任ある行動がとれる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 患者の体験していることに共感的な理解を示しながら患者との援助関係を築くことができる。 2. 疾病・治療が患者に与える影響を理解し、患者のニーズを充足するための看護が理解できる。 3. 患者のニーズを充足するための援助を安全・安楽・自立性を考慮し、指導のもとで実施できる。 4. 看護者として望ましい態度、責任ある行動がとれる。
実習方法	病態が安定し、コミュニケーションがとれる患者を1名受け持ち、日常生活援助の見学・実施。	患者を1名受け持ち、疾病・治療状況を理解しながら、日常生活の援助を実施する。	患者を1名受け持ち、看護過程を展開する。
実習時期	1年次後期	1年次後期	2年次前期
単位・時間数	1単位 45時間	1単位 45時間	1単位 45時間
評価	実習状況、実習レポート等から総合的に評価する。 実習評価表は実習要綱に掲示する。	実習状況、実習レポート等から総合的に評価する。 実習評価表は実習要綱に掲示する。	実習状況、実習レポート等から総合的に評価する。 実習評価表は実習要綱に掲示する。
先修条件	なし	基礎看護学実習Ⅰの単位修得	基礎看護学実習Ⅱ、臨床看護演習の単位修得